

櫛地域づくり計画書



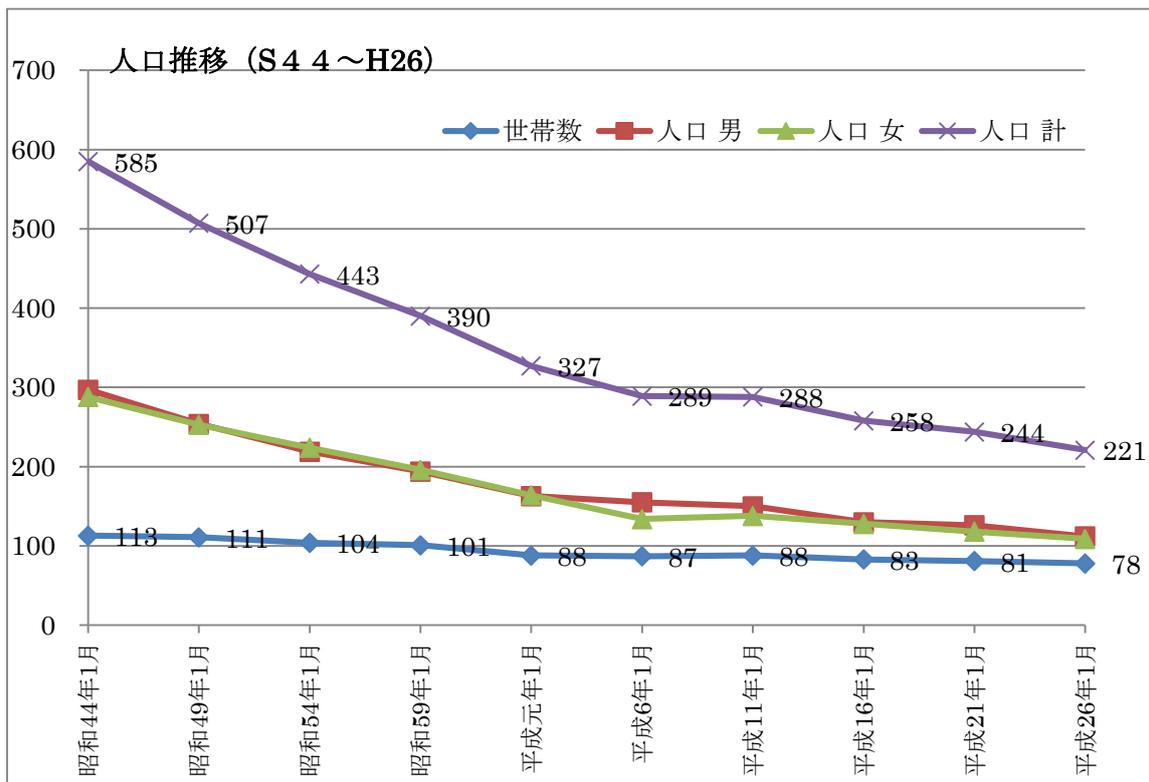
～穏やかで笑顔のある里づくり～

櫛 区

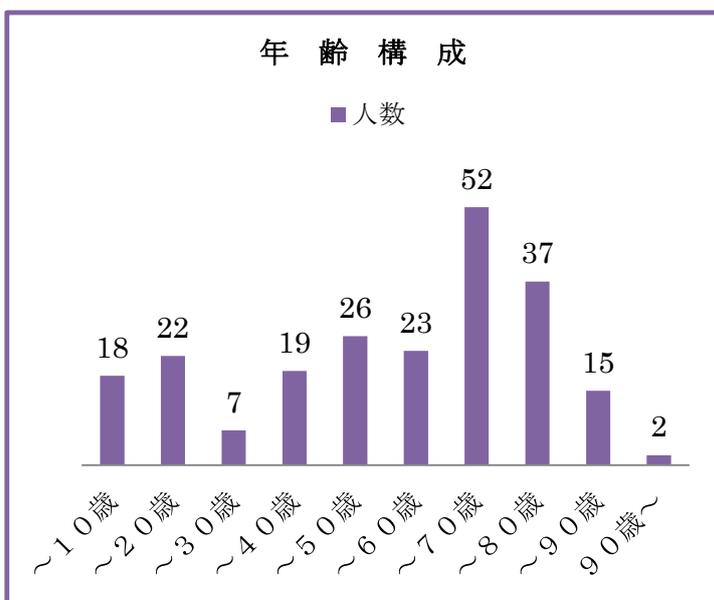
目 次

1. 地域づくり計画とは	1
2. 地区の概要（位置・歴史）	1
3. 地区の現状	2
1) 人口・世帯	2
2) 自治組織	3
3) 年間行事	4
4. 現状と課題	5
1) 防災		
2) 道路		
3) 子どもの遊び場		
4) 健康生活		
5) 環境衛生		
6) 地域資源		
5. 地区の計画	7
①安心して暮らせる「櫛」をつくる		
②「櫛」のこどもたちを守る		
③「櫛」の自然を守る		
6. 資料	13
1) アンケートの内容・アンケート集計結果		
2) 地域づくり策定委員会の名簿・経過		
3) マップ		



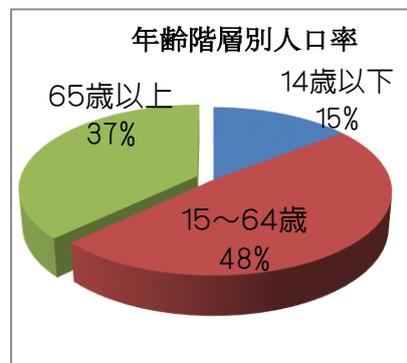


年齢別人口では、生産年齢人口（15～64歳）が48%と最も多いが、60歳から64歳の住民が多いため、数年後には65歳以上の割合が高くなり、生産年齢人口が少なくなると予想される。また、高校・大学・専門学生は住所のみがあり、実際は島外に住む者がほとんどである。



年齢階層別人口

年齢別	男女計
14歳以下	32
15～64歳	107
65歳以上	82
計	221



2) 自治活動

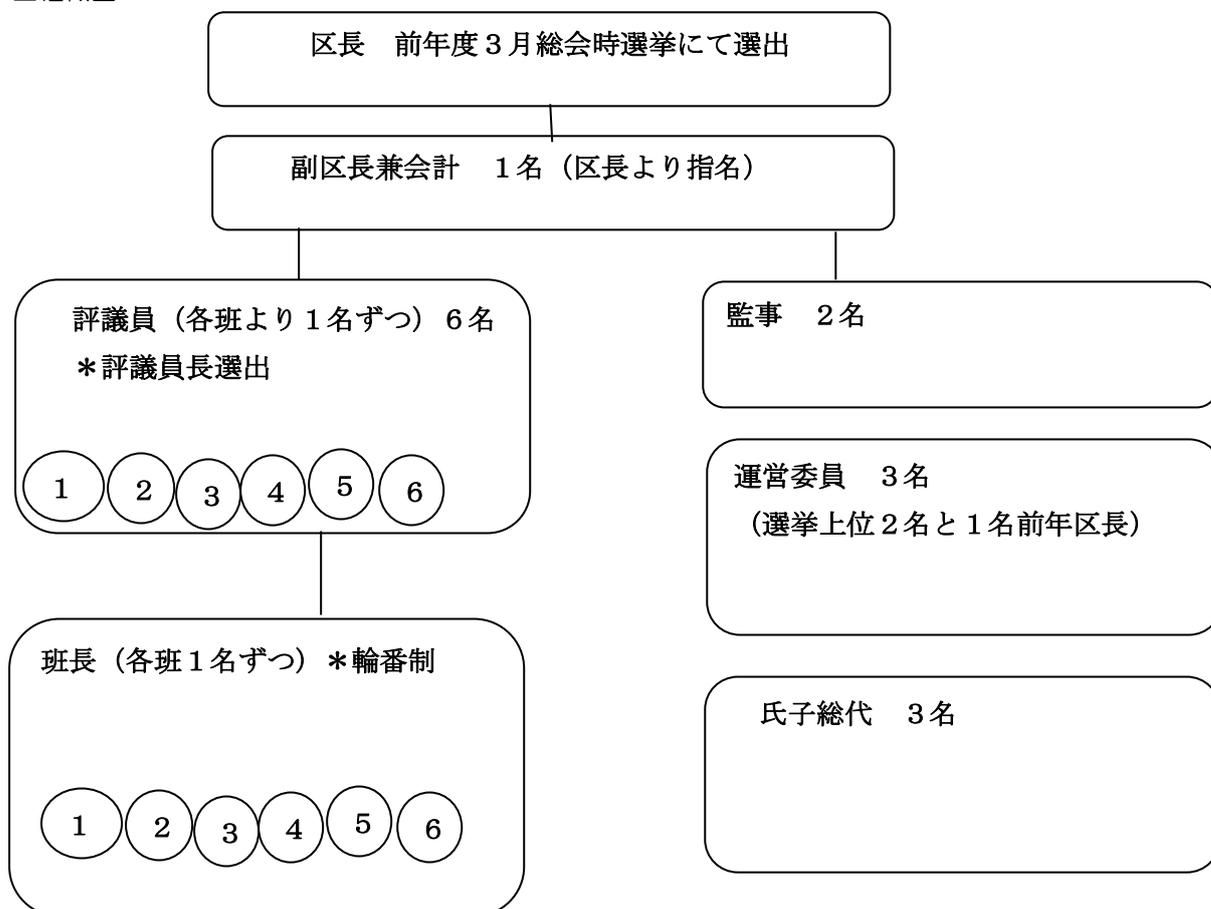
区の組織は、区長を筆頭に、副区長兼会計の2役、評議員6名と運営委員3名（区長の除く2名）、監事3名で構成。会議は適時開催し、年3～4回程度行われている。会議には必要に応じて、各班長、関係団体が出席している。

地区内は、6班に分かれ、各班長が配布物の回覧、集金の徴収、事務連絡等行っている。

区組織図は、下記のとおりである。

その他の団体として、漁民団、農組、消防団、老人会、育成会、グランドゴルフ同好会、イーグルス（グランドゴルフ団体）、彼岸花会（婦人団体）などがある。

区組織図



3) 年間行事

4月	区総会 集会施設清掃作業	公民館	区 区(2班ずつ)
6月	クリーン作戦	区内	区
7月	育成会交流会 (夏休み期間ラジオ体操 公民館前 中学生主体)	公民館	育成会
8月	集会施設清掃作業 消防団夏期点検	格納庫	区(2班ずつ) 消防団
9月	敬老会	旧小学校跡グラウンド	老人会
10月	金比羅清掃 金比羅祭り	金比羅宮 金比羅宮	班(2班ずつ) 漁組
11月	神社清掃 祈年祭	住吉神社 住吉神社	班(2班ずつ) 区
12月	集会施設清掃作業 防火パトロール	区内	区(2班ずつ) 消防団
1月	消防出初式	峰町地内	消防団
3月	消防団総会 区総会	格納庫 公民館	消防団 区



4. 現状と課題

1) 防災

- ①防火水槽・消火栓については、問題ない。
- ②防犯灯については、アンケート調査では、暗くて危険な箇所があったため、区役員と地域づくり策定委員で現地調査を行い1箇所の要望を行うようにした。
- ③排水路や側溝は、未整備の所も多数あり、また転落等の危険もあるため年次的に整備していく。
- ④崖崩れや危険の場所 毎年の市・県への要望に計上している。
- ⑤その他に災害時の避難場所の周知が必要。今後、消防団や情報誌などで伝えていく。

2) 道路

- ①見通しが悪く危険な場所（佐伯宅～濱崎宅前まで）。この区間は見通しが悪く歩道もなく、大型車の通行が多く大変危険な箇所であり県・市の要望を行っていく。要望書は毎年提出し、平成25年には、県振興局に直接陳情済み。信号機の設置など強く要望。
- ②歩道がなく危険な場所が多い。東海岸ルートの中間地点でもあり、交通量はそれなりに多い。道幅が車道でいっぱい余裕がない。今後道路改修を併せて実施されるよう要望していく。
- ③近年韓国からの旅行者の増加により観光バスの往来が多く、速度規制ぎりぎりの速度での運転も見受けられ、横断には要注意な状況がある。

3) 子供の遊び場

地区内には子供が安心して遊べるが無く、早急に整備をしたい。併せて遊具などの設置をおこなっていく。立石埋立地の活用を強く、要望しているが、まだ実現できていない。今後も要望を継続し、実現をめざす。

4) 健康生活・福祉

- ①軽スポーツについては、グランドゴルフ団体が2団体存在している。老人会によるゲートボール場の管理も実施しているが、後継者不足しており、普及・継続できるように努めたい。
- ②通院サービスや買い物サービスは今後高齢化が進む中、通院や買い物に不便と感じる高齢者や障害者が増えていくことが予想される。現状を把握し、検討を継続。

5) 環境衛生

- ①目の前が海である地区なので、家庭用排水などがそのまま流れている所もあり、EM菌の活用や生ごみ回収事業への積極的な参加を普及するようにしたい。

6) 地域資源

- ①地区内交流事業が、各世代に應じてよく実施されているが、世代間交流の事業が少ない。

藤地区の課題・提案・要望

H25.12月実施地域づくりアンケート及び計画策定委員会より

・ 課題

- かき崩れや落石の危険にさらされている家が多い。
- 海岸沿いに段差が多く、歩いても足をつまづく所がある。
- 大潮になると家の前まで潮が上がっている。
- 削溝に土砂がたくさんたまっている。
- 雨が降ると水に濡かりやすい住まいがある。
- 避難場所はない。集会所は海抜が高い。
- 見通しが悪くて危険を感じる所がある。接触事故多発。
- 道幅が車道でぎりぎり。交通量が増えている。
- 川に平気で袋類、車上ボンベなど捨てている。
- 海にごみを捨てている。
- 山にごみを捨てている。
- 湾に油が流れていて臭い。
- 往身が多く、子供が増えない。
- 子供が少なくなり、近くに遊び仲間がいない。
- ひとり暮らし高齢者が増えている。(8世帯)
- 年寄りを見守ってくれる身内が同地区に住んでいない。
- 近くに働く場がない。
- イカや水産物の加工ができるひとが少なくなっている。
- 漁が不振で、安定した収入を得れない。
- 鹿やイノシシ(タニを含む)がいて山や畑で遊べない。
- 公園の移りがなくなり、花見などできる見所がなくなった。



・要望・提案

- 急傾斜地の工事は策定済みなので、早めに計画をすすめてほしい。
- 防犯灯を増やしてほしい。
- 溝の整備をしてほしい。
- 育てる漁をすすめた。い。(ひらめ養殖、ひおうぎ貝・かきの養殖)
- 水産物を釣ったり、掘ったり、加工したり自分で体験でき食べれる処があると便利。
- イカの加工場を作り、ネット販売や販売ルートを開発したりできる人材育成をして、地元で働く場の確保を手伝ってほしい。
- 子供たちが遊べる公園などあったらいい。
- 軽スポーツや催し物ができる広場として立石埋立地を整地してほしい。
- 花木をみんなで育てて、花見できる場所をつくりたい。
- お寺付近に避難場所を確保したらどうか。
- 室内レクレーションできる場所が欲しい。

H26.3月 藤地区総会時説明資料

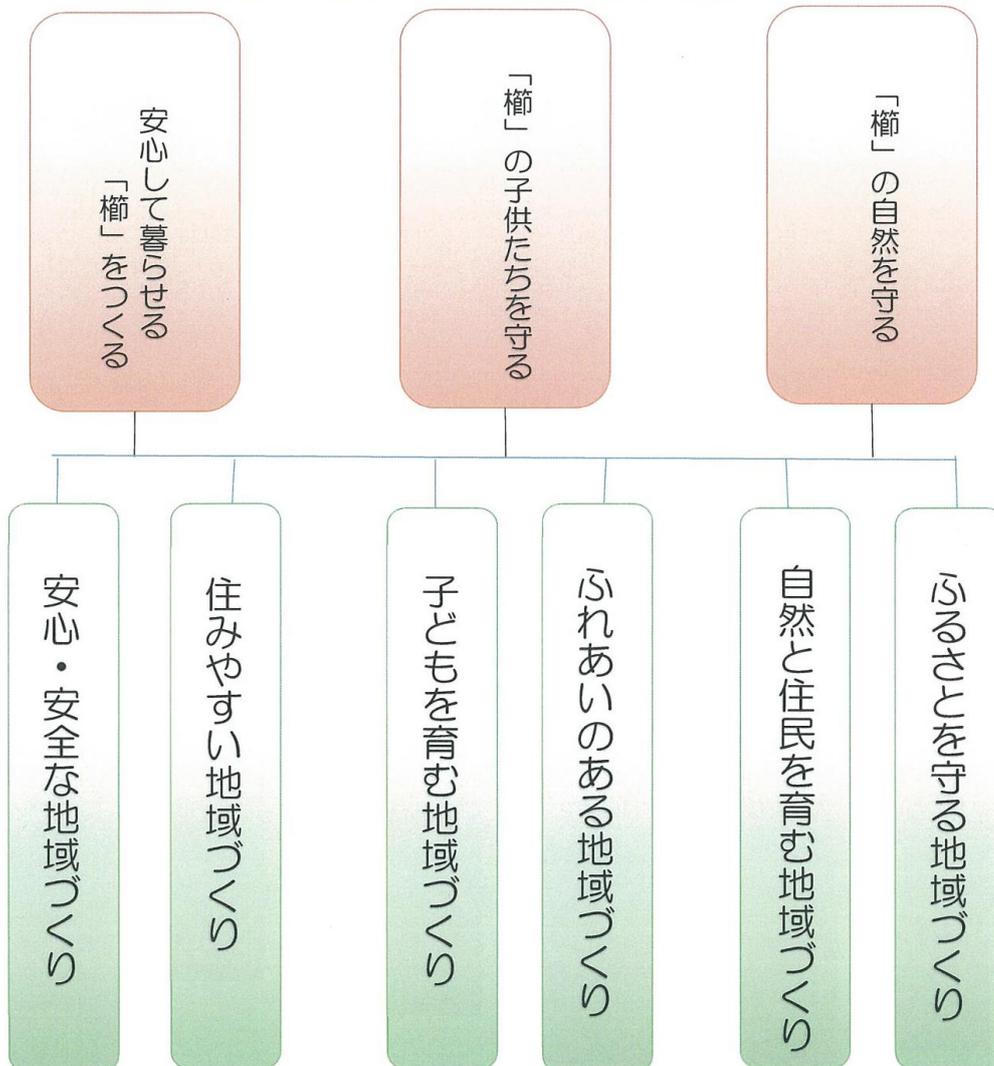
5. 地区の計画

櫛地区地域づくり計画書

～私たちが残したい未来をつくろう～

櫛地区では、今後10年間に3つの基本理念をかかげ、6つの基本目標を達成するために、様々な事業を行います。

毎年、地域の課題解決や次世代につなぐための事業を、「自分たちの地域は、自分たちの手で」を理念とし、自主・自立に向けた地域の取り組みにより、元気で暮らしやすい「櫛」をつくりましょう。



①安心して暮らせる「櫛」をつくる

基本目標	項目	内容	地区の行動	実施予定年度	備考	
安心・安全な 地域づくり	自然災害に対する避難場所の 確保	・新たに避難所を設置し、経路の確保	市へ要望	5年以内		
		・表示板の設置等	実行	3年以内		
		・排水路、側溝の整備	市へ要望	1～2年以内		
	防火体制の確率	・消火栓使用講習の実施	実行	実行	26年度中に実施	
		・火災シーズンの見回り等	実行	実行	毎年実施	
	防犯活動の推進	・防犯灯設置箇所を見直し、必要箇所への設置	市へ要望	市へ要望	1～2年以内	
		・防犯講習会、地区内の見守り活動等の整備	実行	実行	1～2年以内	
	住みやすい 地域づくり	山地災害総合減災対策治山事業	・急傾斜地工事	要望済み	平成26年度から測量開始	別紙資料参照
		暮らしの中のルールづくり	・暮らしのマナーの文章化	実行	実行	
			・定期的な清掃活動	実行	実行	
高齢者見守り体制の確立		・ごころからの声かけや見守り体制の整備	実行	実行		
		・高齢者への生活支援	実行	実行		
市・関係機関との連携	・地域マネージャー制度の活用	実行	実行			

②「横」の子どもたちを守る					
基本目標	項目	内容	地区の行動	実施予定年度	備考
子どもを育む 地域づくり	道路整備事業	・安心して通える通学路づくり	市・県へ要望	5年以内	
		・道路の危険箇所点検等	実行	26年度	
	青少年育成支援	・地域で連携して青少年育成を図る	実行		
	浮き桟橋設置工事		市へ要望済		
ふれあいのある 地域づくり	立石ゆめで地整備	・子どもの遊び場の確保	地域マネージャー制度を利用して実施		
		・軽スポーツや催しものが開催できる広場の整備			
	若年層の定住推進	・新たな産業の創出のための起業支援	市へ要望	26年度中に学習会の開催	
		・特産品の研究・開発	実行		
異世代交流事業	・雇用の確保	実行			
	・世代間の交流を支援	実行			



③「櫛」の自然を守る						
基本目標	項目	内容	地区の行動	実施予定年度	備考	
自然と住民を育む地域づくり	自然環境や景観の保全	• 共有地への植樹活動	市へ要望	1～2年以内		
		• ワイヤーマッシュ柵の設置	市へ要望	3年以内		
		• 狩猟免許の取得推進	実行	3年以内		
	生涯学習の支援	• 健康・体力づくりの各種教室の開催	市へ要望	市へ要望	1～2年以内	
		• 婚活の支援	実行	実行	1～2年以内	
		• EM講習会の開催	実行	実行		
		• EMによる家庭排水の浄化	実行	実行		
	ふるさとを守る地域づくり	EM活用による環境改善		実行		
			地区集会施設の充実	実行		
		地域資源の掘り起こしと有効活用	• 新たな人材の発掘と育成	実行	実行	5年以内
• かき小屋、いかの加工品販売			実行	実行	5年以内	
• いかの地元消費の喚起			実行	実行	5年以内	
• 流通分野への支援			実行	実行	5年以内	
• 地元農林水産物の販売、道の駅			市へ要望	市へ要望	5年以内	
• 人材育成			市へ要望	市へ要望	5年以内	
• 文化、伝統の勉強会等			市へ要望	市へ要望	5年以内	
• 伝統・文化の掘り起こし、保存						

6. 資料

櫛地区地域づくりアンケート調査結果

(1) 櫛地区地域づくりアンケート調査実施要綱

1. 目的

櫛住民を対象とした「地域づくりアンケート」を実施することにより、地域の課題や要望を明らかにし、今後の地域づくりの基礎資料を得る。

また、地域づくりについて、幅広い住民の意見を今後の取組に反映することにより、住民の協働意識の向上を図り、地域づくり参加を促進する。

2. 実施主体 櫛地区地域マネージャー

3. 調査対象 櫛地区全世帯（76世帯）

4. 調査期間 平成25年12月28日～平成26年1月10日

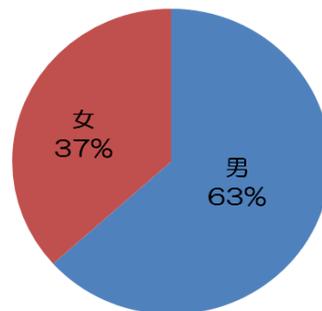
5. 調査方法 地区班長より配布、回収（無記名自記式）

6. 調査回収率 30世帯（39.4%）

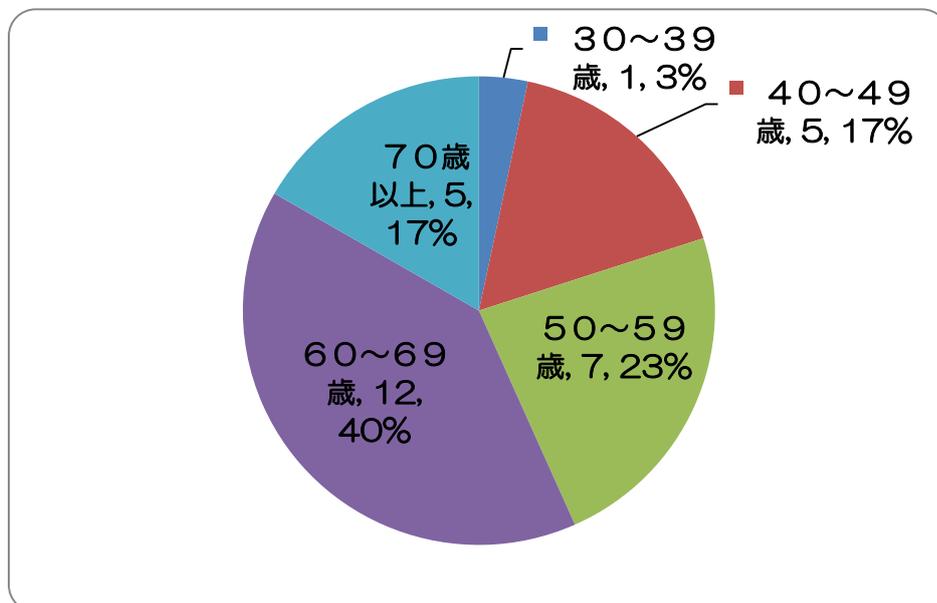
(2) 調査結果

問1 あなたの性別はどちらですか。

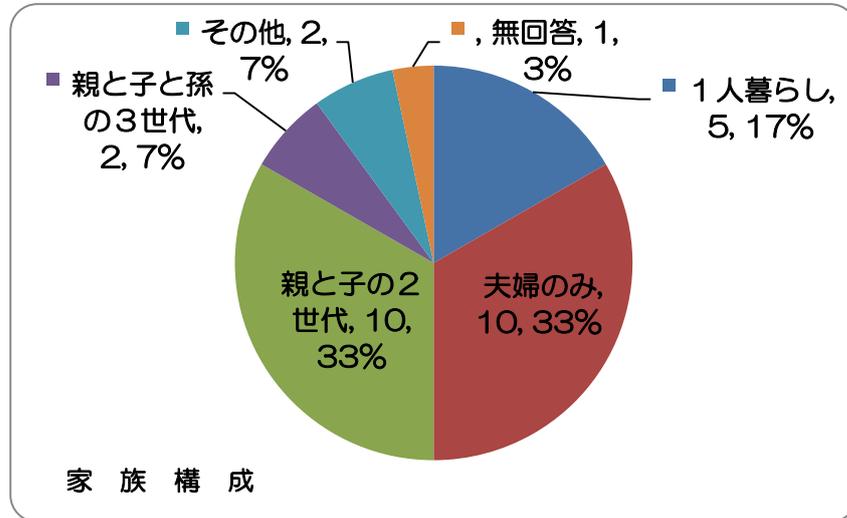
	男性	女性	計
回答者数	19	11	



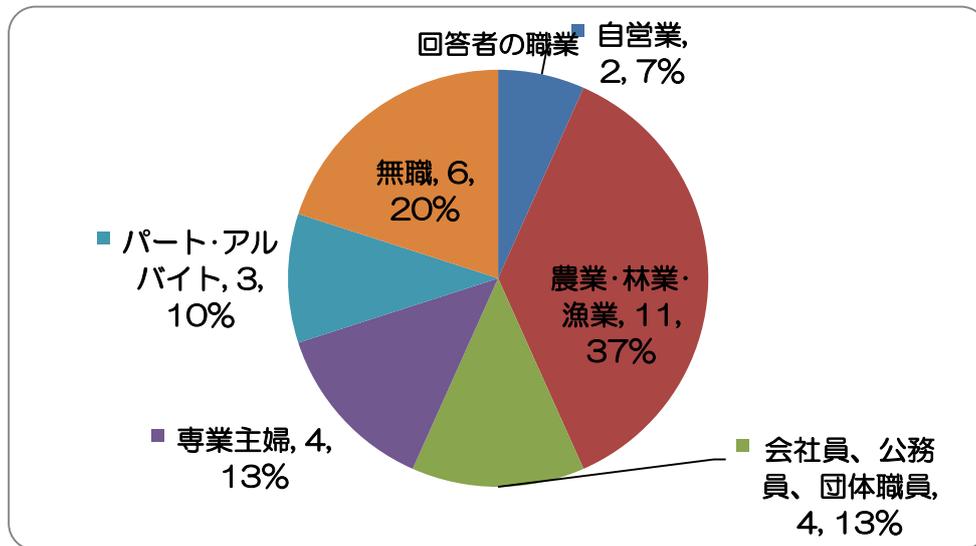
問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。



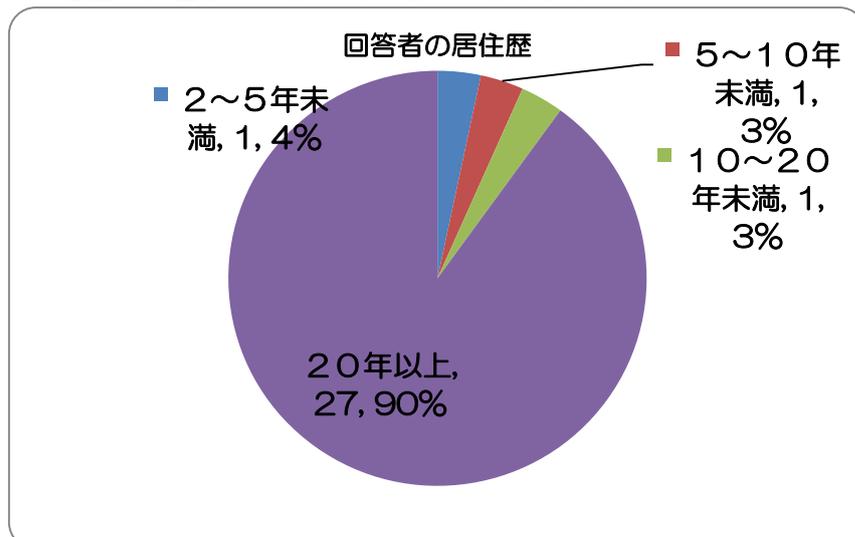
問3 あなたのお宅の家族構成は、次のうちどれですか。



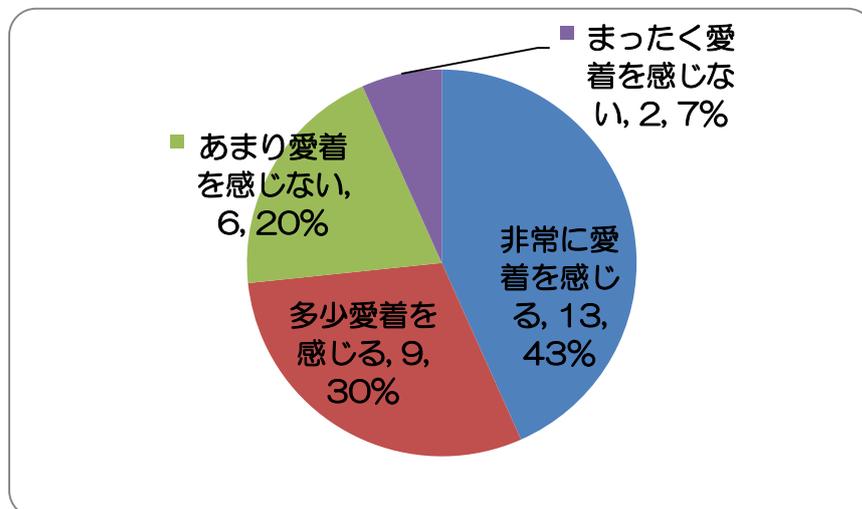
問4 あなたの職業は、次のうちどれですか？兼業の方は最も収入の多いものを一つだけお選び下さい。



問5 あなたは、櫛地区にお住まいになって、何年になりますか。



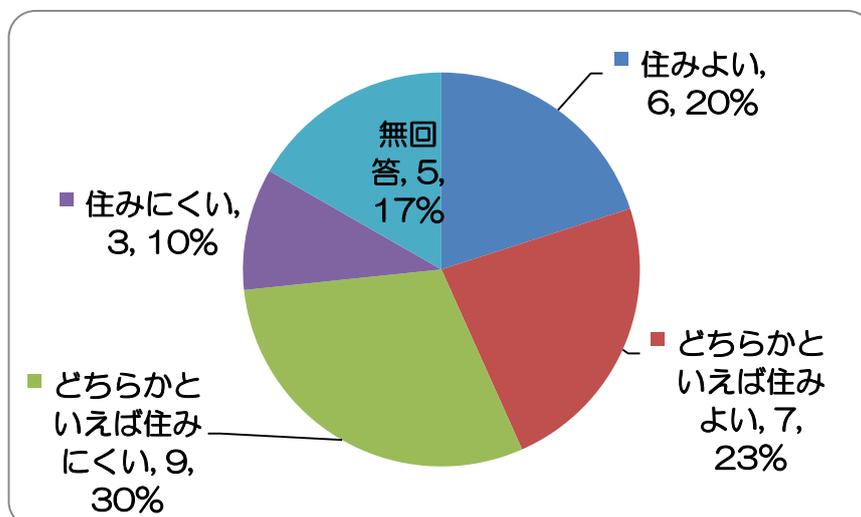
問6 あなたは、櫛地区に愛着を感じますか。



●愛着を感じられない理由は何ですか。1つだけお選び下さい。

1. 人口が少なく寂しいから (2人)
2. 文化が低いと思うから (1人)
3. 歴史や伝統がないから (1人)
4. 生活するうえで、不便だから (2人)
5. 働く場が少なく活気が乏しいから (1人)
6. 風紀がよくないから (1人)
7. その他 (特に理由はない 1人)

問7 全員の方におたずねします。櫛地区は住みよいところと思いますか。それとも住みにくいところと思いますか。1つだけお選び下さい。



●住みよいと思うのはどんな点でしょうか。2つまでお選び下さい。

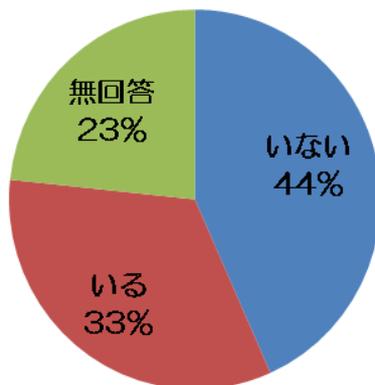
1. 人柄、人情がよい。(8人)
2. 親戚や友人が多い。(8人)
3. 日常の買い物が便利だ。(6人)

問7-2 住みにくいと思うのはどんな点でしょうか。2つまでお選び下さい。

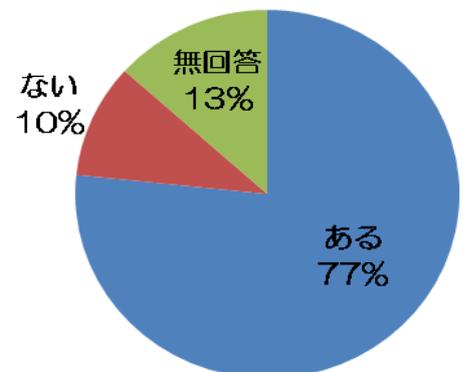
1. 人柄、人情がよくない。(2人)
2. 人間関係がわずらわしい。(5人)
3. 日常の買い物が不便だ。(8人)
4. 物価が高い。(4人)
5. 通勤、通学などの交通が不便だ。(2人)
6. 文化施設や公園などの憩いの場が整っていない。(4人)
7. 学校や幼稚園、保育所などの教育、保育施設が整っていない。(0人)
8. 病院などの医療機関が整っていない。(1人)
9. 親戚や友人が少ない。(0人)
10. 地域の行事や催しが少ない。(1人)
11. 田舎で寂しい。(2人)

問8 全員の方にお聞きします。現在の楡地区の現状について、該当するものに○をつけて下さい。

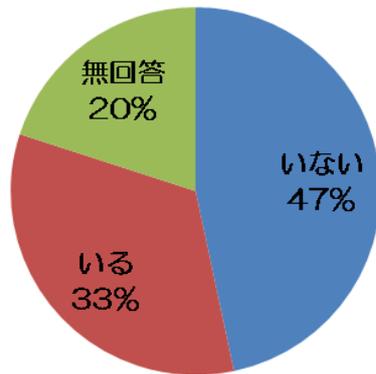
●防災、防犯体制は整っていると
思いますか。



●災害時の報知（サイレン等）は
整っているといますか。

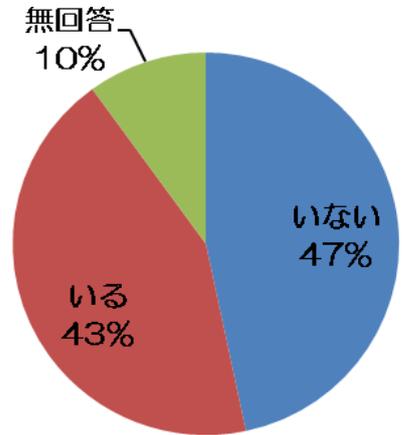


●古井戸、池、用排水路、道路側溝など安全のための整備（柵、蓋、照明、看板など）が設けられていますか。



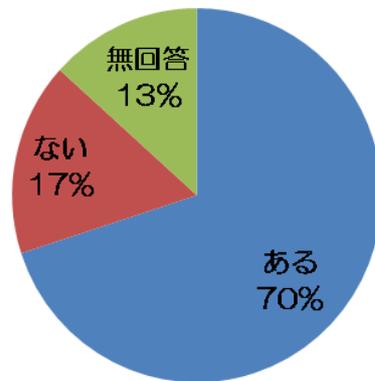
- ・段差が多く転びやすい。
- ・側溝のふたがかけている。

●夜間、暗い所に防犯灯は設けられていますか。



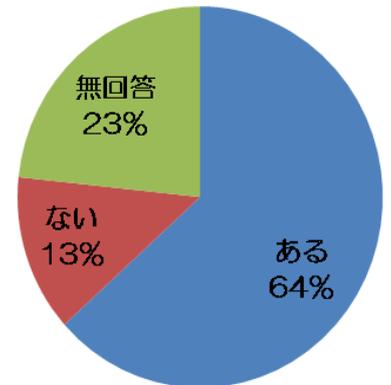
- ・須川和義、宮本さん付近に防犯灯をつけて欲しい

●雨が降ると水に浸かりやすい住まいはありませんか。



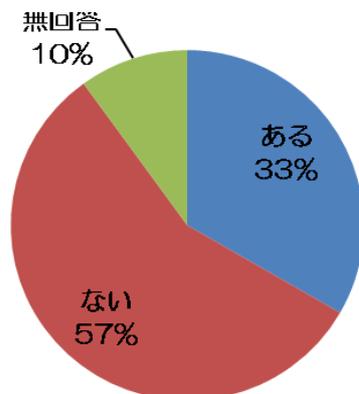
- ・大櫛の川
- ・須川和義家

●崖崩れや落石の危険にさらされている住まいはありませんか。

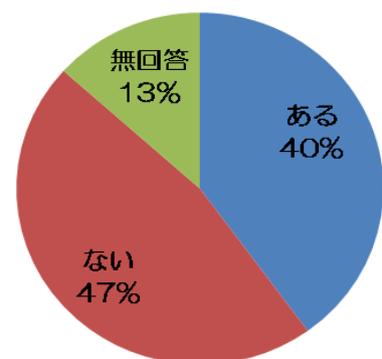


- ・裏山から毎日のように石が落ちている
 - ・トクエ
 - ・糸瀬孝則家
- ・櫛全体

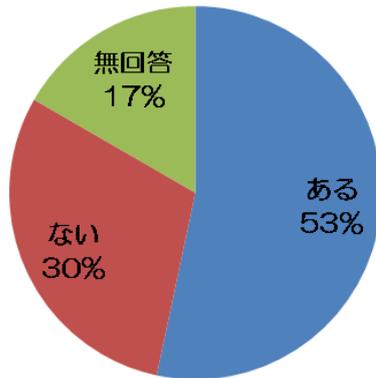
●災害の危険性がある時、避難する場所がありますか。



●見通しが悪くて危険を感じているところはありますか。



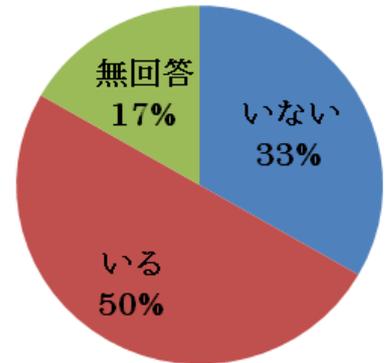
●道幅が狭く、危険を感じているところはありませんか。



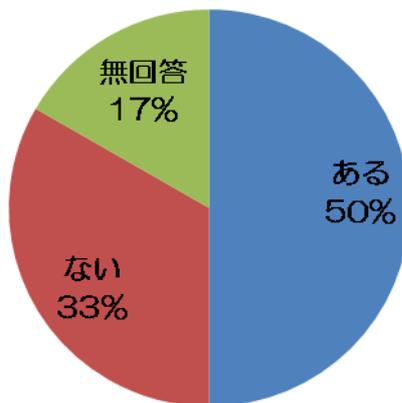
・道幅が車道でギリギリ

●カーブミラー、交通標識等は必要に応じて設置されていますか

・佐伯、浜崎付近

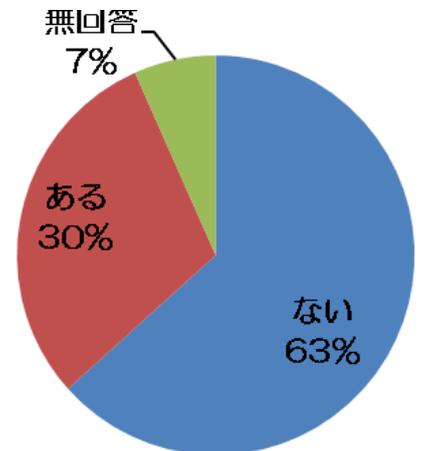


●地域内道路で段差があって、高齢者や障害者等に危険と思われるところはありませんか。

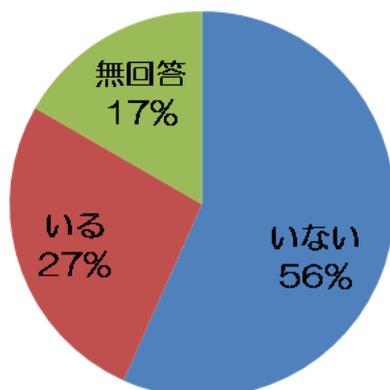


- ・櫛バス停留所
- ・以南、阿比留、寺岡さん家の前
- ・以南商店前より阿比留茂敏さん前で海岸に段差がある。

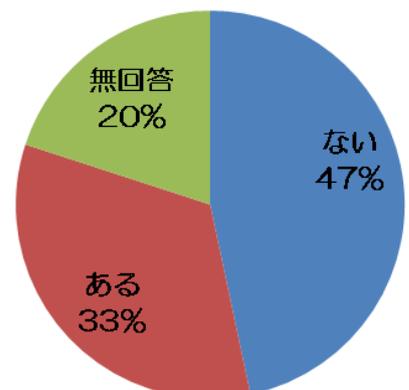
●子どもたちが自然とふれあえる場所、あるいは土の上で遊べる遊び場はありますか。



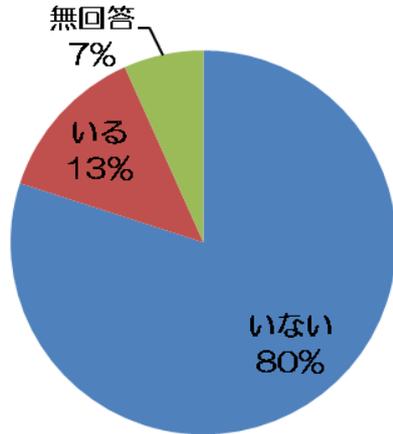
●遊び場は、大人の目の届く状態になっていますか。



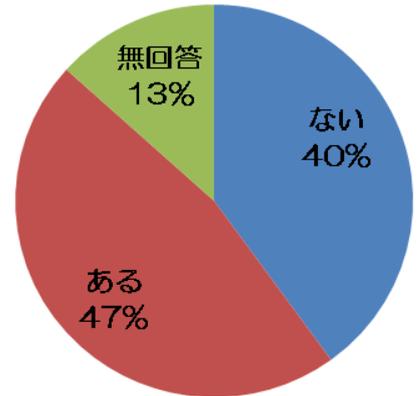
●遊び場は、子どもが安全に往復できる場所にありますか。



●健康づくりのため、勉強会、体力測定、スポーツ教室、スポーツ活動などを計画的に行っていますか。

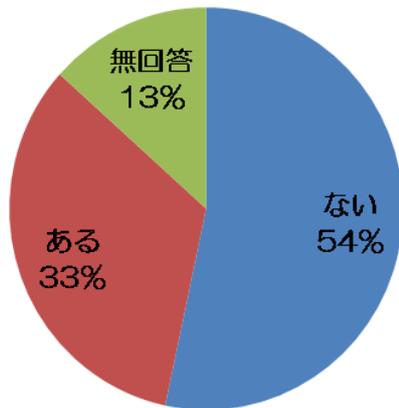


●気楽に楽しめる軽スポーツや催し物ができる広場が近い場所にありますか。



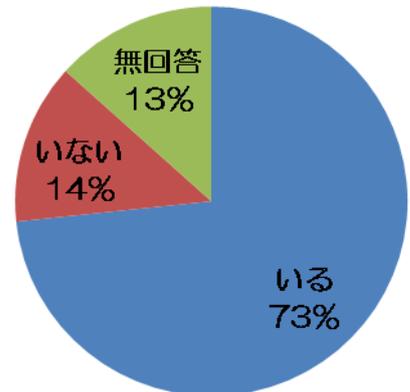
- ・早く立石埋立地を整地して欲しい
- ・トクエ浜

●休養や睡眠を妨げる騒音や振動、悪臭などはありませんか。



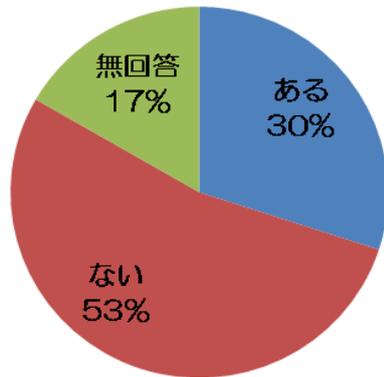
- ・夏になると、大櫛の三面張川付近
- ・車 ・限界橋 ・時々騒音がある

●道ばた、河川、山林、空き地などにゴミ、空き缶などが捨てられていませんか。

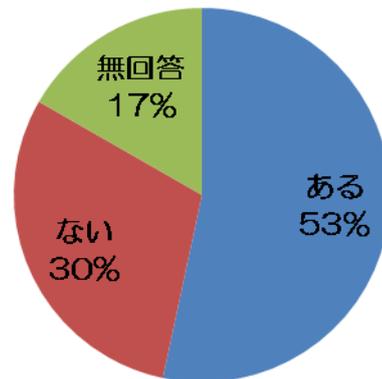


- ・散歩道になっており、途中ゴミを捨てる人がいる。
- ・ トクエトンネル付近（2人）
- ・ザラゴまでひどい。
- ・全地区

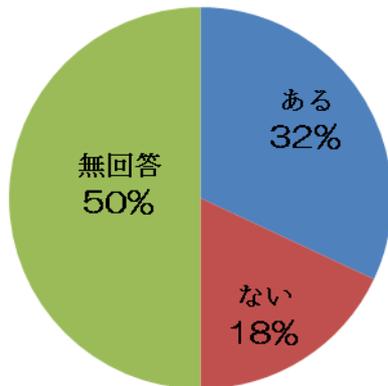
●ペットの糞などがよく捨てられている道ばた、公園、山林、空き地などはありますか。



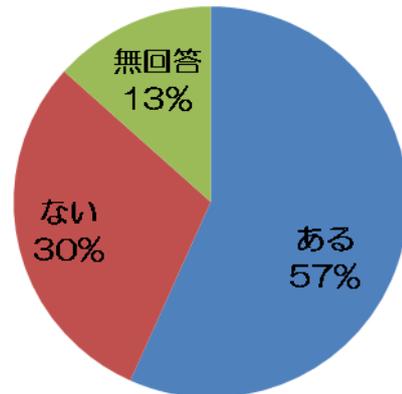
●生活排水が、直接、道路、耕地、用水路、河川などに流されているところありますか。



●河川などにゴミなどがたまりやすい所はありますか。

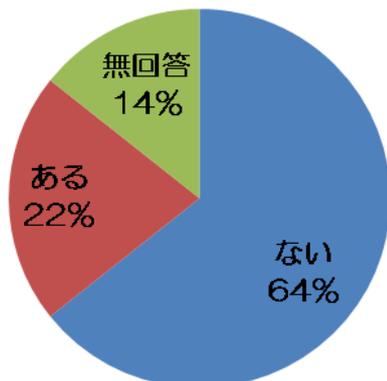


●雑草が生えているところはありませんか。

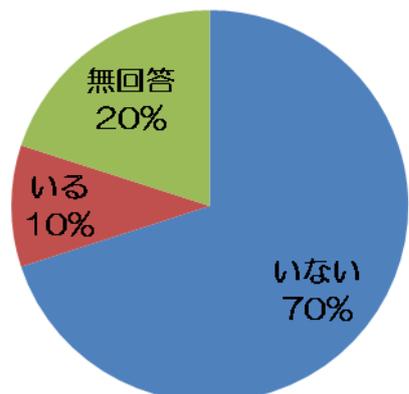


- ・ 芦田商店の前の水ためにたくさん砂がたまっている。
- ・ 立石

●将来に残しておきたい自然（山、河川、景観地、珍しい動植物）がありますか。

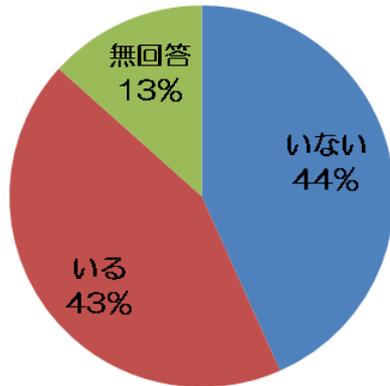


●地域内美化のため、花づくりや緑化活動などが行われ、整備されていますか。

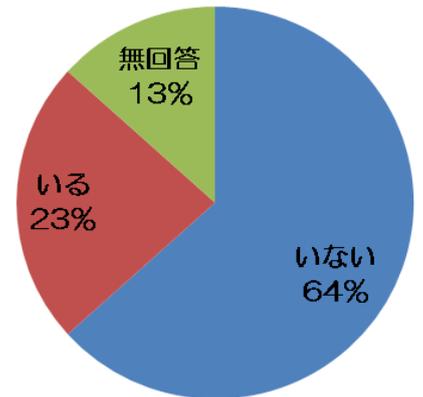


・ 松山

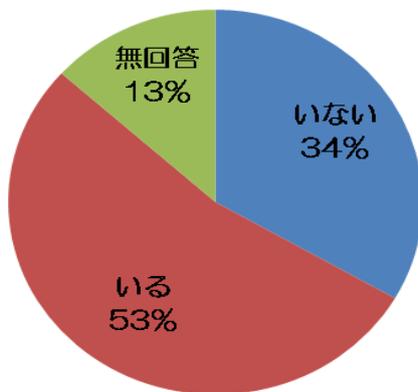
●冠婚葬祭の合理化について、申し合わせがなされていますか。



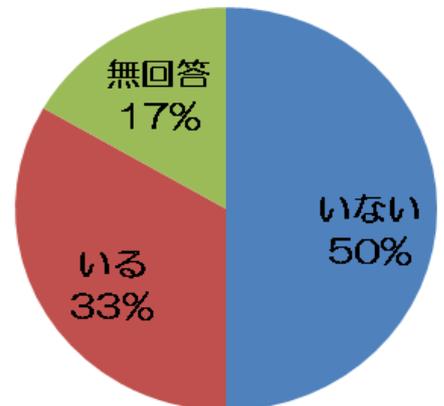
●日常の付き合いやしきたりの中で、住みにくさについて改善の話し合いや申し合わせがなされていますか。



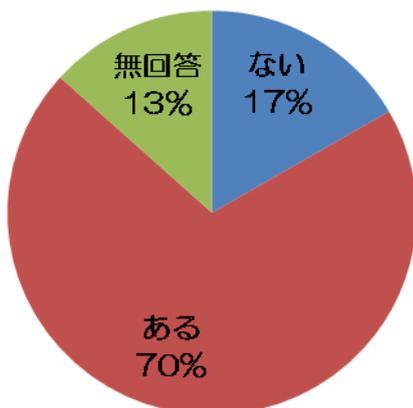
●集合時間の厳守、会合や共同作業への出席敢行、あいさつ敢行などの申し合わせがなされていますか。



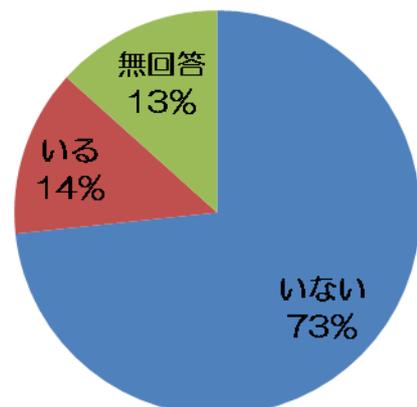
●祝儀、葬儀、病気、事故、災害などの手伝いや見舞い、作業の手伝い、留守中の子供や高齢者の世話などの申し合わせがなされていますか。



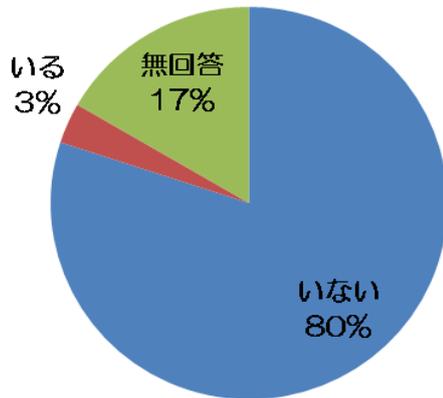
●会議、娯楽、催し物など多目的に利用できる施設がありますか。



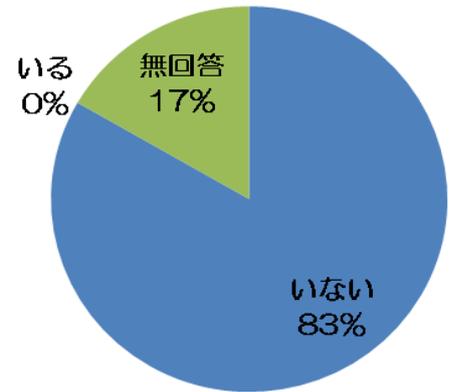
●みんなで楽しめる祭り、盆踊り、運動会などの行事が、住民の賛同を得て計画されていますか。



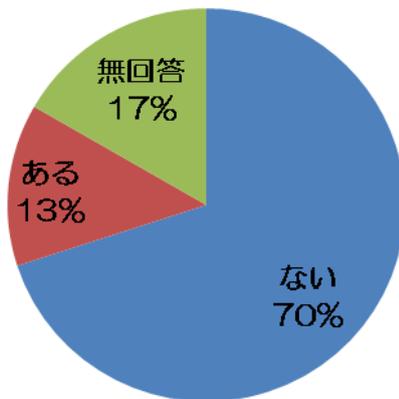
●ふるさとの歴史、芸術、芸能、物財などの掘り起こし、保存、伝承などが行われていますか。



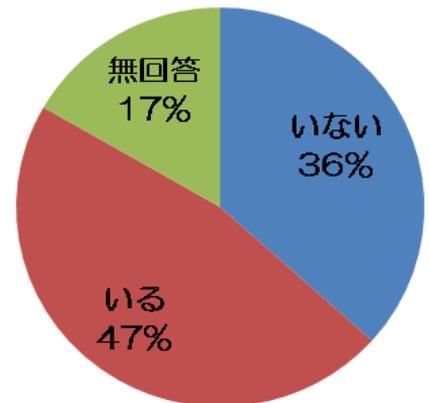
●新しい文化の創造が行われていますか。



●寺社、名所旧跡、名物名産、人財、物財など、自慢できるものがありますか。

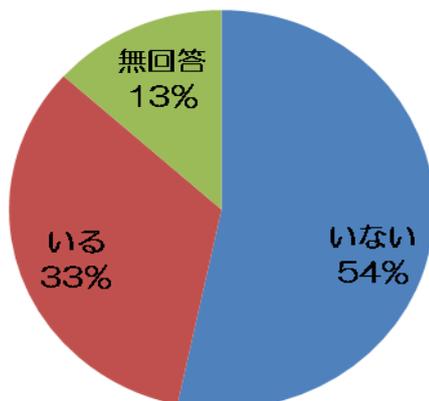


●名所旧跡、物財などの管理、清掃などが行われていますか。

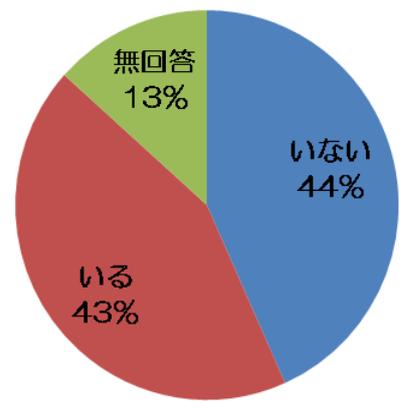


・この前寺ができたばかり

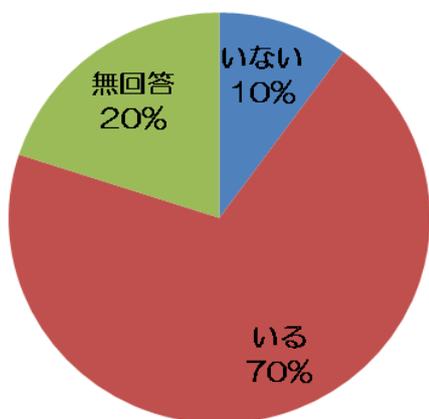
●婦人会、青年組織、子供会、老人会などがあり、計画的に活動していますか。



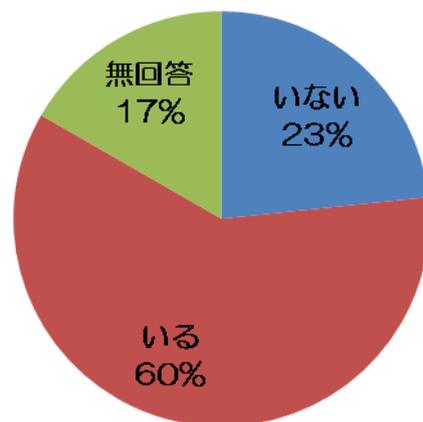
●趣味の会、同好会などがあり、計画的に活動していますか。



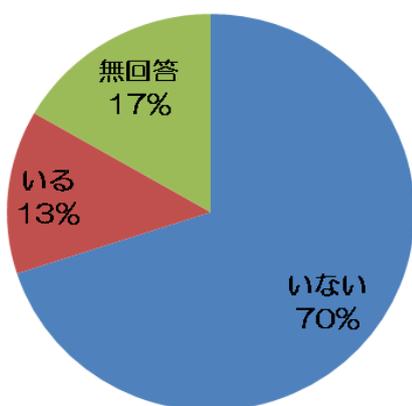
●住民への連絡事項は速やかに伝えられていますか。



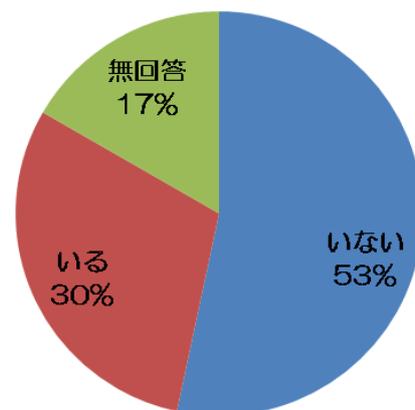
●自治会の運営が円滑になされていますか。



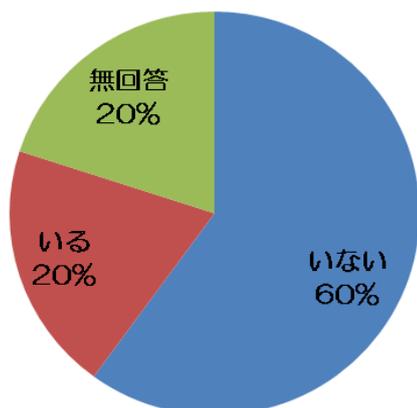
●地域の暮らしを高める活動が行われていますか。



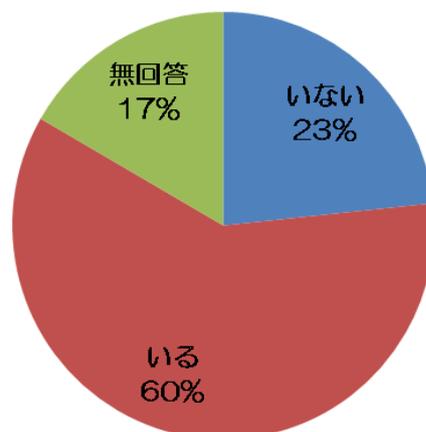
●平素の暮らしで困ったことを、地域で解決する仕組みが作られていますか。



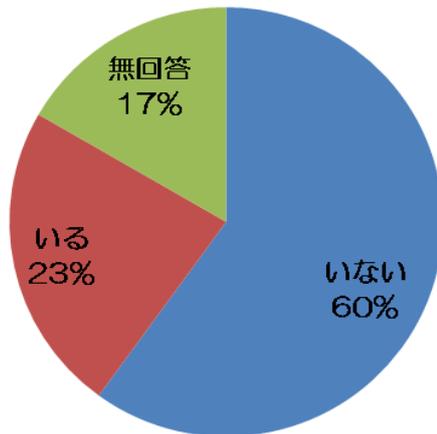
●自治会活動に、子ども、青年、女性、高齢者など戸主以外の意見が反映できる仕組みになっていますか。



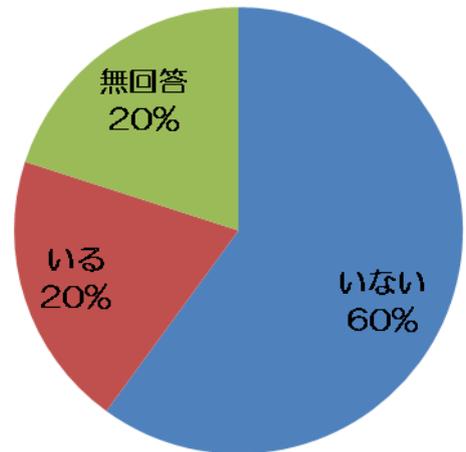
●役員等の世代交代が進んでいますか。



●単なる要望団体ではなく、地域のことは地域で解決するという基本的姿勢は浸透していますか。



●他の地域や組織等と共同した活動を行ったり、話し合う仕組みができていますか。



要望・意見等なんでも書いて下さい。

- ・海岸沿いに段差が多く、歩いていても足をくじくときがある。
- ・川に平気で袋類、卓上ガスボンベなどを捨てている。
- ・大潮になると家の前まで潮が上がっている。溝の整備をして欲しい。
- ・芦田さんの前の側溝に土砂がたくさんたまっている。
- ・室内でレクリエーションができる場所が欲しい。
- ・海にゴミを捨てないようお願いしたい。
- ・模範地区にはほど遠い
- ・山にゴミを捨てる人があって困ります。
- ・子どもたちが遊べる公園などがあつたらいいと思います。
- ・家の前に油が流れてきて臭い（家の中にいても臭いがする）
- ・勝手に埋め立て、山を削って宅地を造成しているため、整備不能なのか。
- ・立石広場の有効利用を検討してみてはどうだろうか。



○地域づくり計画策定委員会の名簿・経過

第1回実行委員会 平成25年12月16日

アンケート実施 平成25年12月28日～平成26年1月10日

第2回実行委員会 平成26年 2月24日

第3回実行委員会 平成26年 3月16日

*26年4月総会時にて承認

櫛地域づくり委員会名簿

区代表 青木 掉磨・阿比留茂巳

漁組代表 糸瀬和則

消防代表 八坂正己

育成会代表 住井英喜・八坂忠義

地域マネ 井上リーダー、藤原宣宏、須川紀子、藤原幸美

合計 10人(男8,女2)

